

第2回 新居浜市市民文化センター基本構想市民検討委員会 会議録

- 1 日時 令和4年11月8日（火） 14時00分～16時00分
- 2 場所 新居浜市文化振興会館 第5研修室
- 3 出席者 委員 井田委員長、合田(定)委員、妻鳥委員、戸田委員、北岡委員、高橋委員、小野委員、塩田委員、尾崎委員、原(孝)委員、田坂委員、久保委員、合田(史)委員、中野委員、篠原(和)委員、奥本委員、好井委員、黒下委員、伊藤委員、近藤委員、濱田委員、梶本委員、原(恭)委員(23名)
- アドバイザー 木村 勢津 (愛媛大学名誉教授)
宮崎 節二 ((公社)瀬戸フィルハーモニー交響楽団理事・音楽家)
- 事務局 新居浜市文化スポーツ局文化振興課長 中沢、同課係長 高橋、同課専門員 桑原
支援事業者 (株)日本総合研究所 富樫、(株)いよぎん地域経済研究センター 山之内、
(株)矢野青山建築設計事務所 矢野
- 欠席者 篠原副委員長、大西委員、鈴木委員、後藤委員、佐藤委員、福本委員、加藤委員(7名)
- 4 議事 (1) 報告事項
- ①文化センターの利用状況
 - ②アンケート結果の報告
 - ③事例視察結果の報告
- (2) エリアコンセプト・文化センターの整備方針に関する説明及び意見交換
- (3) その他

事務局	<p>それでは、定刻がまいりましたので、ただいまから、第2回新居浜市市民文化センター基本構想市民検討委員会を開催します。</p> <p>本日は大変お忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。まず、本日の出欠状況について報告します。</p> <p>本日は、新居浜文化協会会長の篠原(雅)副委員長、新居浜市民吹奏楽団の大西委員、公立幼稚園協会の鈴木委員、公募委員の佐藤委員、同じく公募委員の福本委員、以上5名の委員の皆様からは欠席の連絡がございました。また、新居浜南高校の後藤委員、公募の加藤委員のお二人は遅れていらっしゃるものと思われます。委員総数30名の内、出席者23名となっていますので、本日の会議の成立要件を満たしています。</p> <p>また、本日は、愛媛大学名誉教授の木村勢津先生と、瀬戸フィルハーモニー交響楽団理事の宮崎節二先生のお二人に、オブザーバとしてご出席いただいています。どうぞよろしくお願いします。</p> <p>前回の会議から、3カ月以上経過していますので、改めて、本日、お手元にお配りしている1枚もの、表に「基本構想の概要」が、裏に「委員会開催予定」が記載されている資料を、ご確認いただければと思います。この資料は、第1回会議資料の抜粋です。</p> <p>まず「基本構想の概要」をご覧ください。本日は、基本構想項目(2)の、基本目標・コンセプトを検討することとしています。周辺エリアのあり方や、本事業の基本目標等が内容となります。次に、裏面の「審議会開催予定」をご覧ください。予定は若干遅れていますが、青い数字の2番が本日の会議で、エリアデザイン方針、文化センター整備方針等がメ</p>
-----	---

	<p>インテーマとなっています。</p> <p>そして、青い数字の3番、12月に予定している次回の会議で、新施設の機能その他について協議していきます。新文化センターにどのような施設・機能を入れるのかにつきましては、次回の会議でご検討いただくこととしていますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(1) 報告事項 ①文化センターの利用状況</p>
井田委員長	<p>それでは、次第に従い、議題(1)報告事項から、進行させていただきます。</p> <p>まず、「文化センターの利用状況」について、事務局から報告をお願いします。</p>
支援事業者	(資料1に基づいて、文化センターの利用状況について説明)
井田委員長	<p>ありがとうございました。何か質問はありますか。</p> <p>なお、会議録作成のため、お名前を言っていただいてからご発言をお願いします。</p>
好井委員	<p>大ホールの利用状況について、15番目の伝統芸能・民俗芸能の利用は、具体的にどのような団体の利用か。また、よく見ると、年々利用件数が減少している。平成27年は74回だったのが、令和元年には11回になっている。減少の要因がわかれば教えてほしい。</p>
事務局	<p>梶本委員の所属団体の活動数を、平成27年度、28年度は「伝統芸能・民俗芸能」でカウントしているが、それ以降は「その他」でカウントしている。統計上のカウント方法の変更による影響である。</p>
梶本委員	<p>私は和太鼓の団体に属しており、以前は大ホールのステージを使って夜間に和太鼓の練習をしていたが、お金の問題があった。大ホールを使用すると1回あたり7,000円程度の出費があり、団体の懐が寒々しいことになるということで大ホールの使用をあきらめ、中ホールのステージ利用に切り替えた。「伝統芸能・民俗芸能」の数が減っている点に関しては、私たちの団体の活動が大きく影響していると思われる。年間60回程度利用していた。</p>
好井委員	わかりました。
原(恭)委員	<p>利用状況に関する資料を作成いただき、ありがとうございます。大ホールについて、延べ人数と利用日数が出ているので、単純に割り算すると1日あたり260～280人ぐらい。中ホールも130～150人/日ぐらいになる。3ページに大規模イベントの件数が記載されているが、大ホールで何百人も入るイベントはあまり多くないという感想を持った。単純に人数を日数で割っただけであるため、正確ではないかもしれないが、これから規模等を検討する段階では、年に何回かしかしないイベントのために大きなホールを作り、それ以外の日は100～200人しか使っていないということでは、もったいない気がする。その辺りをもう少し詳しく聞かせてもらえればありがたい。</p>
事務局	<p>イベントをするとなると、準備やリハーサルをする必要がある。それらも稼働日として</p>

	<p>カウントするが、利用者が主催者だけになるため、その日の利用人数は非常に少なくなる。イベントをするためには、準備やリハーサルがあったうえでの本番になる。本番では800人、1,000人以上のお客さんを入れて開かれており、そこは評価される点であると思う。</p>
原(恭)委員	365日の内の15日、21日である。
事務局	単純に考えると、20回800人規模のイベントがある場合、稼働日数は40～60回となる。
原(恭)委員	わかりました。ありがとうございました。
井田委員長	この件は、前回、原恭介委員から資料提供の要望があったものですが、原委員、今の説明でよろしかったでしょうか。
原(恭)委員	はい、結構です。
	(1) 報告事項 ②市政モニターアンケート結果
井田委員長	続きまして「市政モニターアンケート結果」について、事務局から報告をお願いします。
支援事業者	(資料2に基づいて、市政モニターアンケートの結果について説明)
井田委員長	ありがとうございました。何か質問はありますか。
	(質問なし)
井田委員長	質問が無いようですので、続いて「事例視察結果」について、事務局から、報告をお願いします。
	(1) 報告事項 ③事例視察結果
支援事業者	(資料3に基づいて、事例視察結果について説明)
井田委員長	ありがとうございました。何かご質問がございますか。
	(質問なし)
井田委員長	資料には書かれていると思いますが、視察に参加された方で、特に新文化センターに取り入れたらよいと思われた点がございましたら、ぜひ発表していただけませんでしょうか。2回とも視察に行っていた合田(定)委員、いかがでしょうか。

合田(定)委員	<p>先日は非常にいい視察研修に参加させてもらい、大変勉強になった。私は駐車場と座席数が気になった。しこちゅ〜ホールでは、駐車場が357台もあり、広々とした駐車場だが、大ホールでのコンサートの際には不足してしまうそうである。また、観音寺市もかなりの駐車台数、379台と隣接する市営駐車場168台、これでも大きなコンサートの際には頭を悩ますことがあるそうで、新居浜市では、それよりも多くの駐車場を確保できるとよいと思った。</p> <p>座席数については、観音寺のハイスタッフホールは1,200席、しこちゅ〜ホールの大ホールに比べると座席がゆったりとしており、心地よい気持ちで座ることができた。バルコニー席や親子席を配置するなど工夫もされていたが、二層の座席部分が、しこちゅ〜ホールは急斜面で圧迫感があった。観音寺の方は広さがあり、安定感があり広々とした感じがあった。1,200席もあるにも関わらず、宝塚歌劇団などの一流の劇団を呼ぶことができないと伺い、新居浜市では1,300～1,500席ぐらいあれば、全国レベルの一流アーティストを呼ぶことができるのではないかと思った。</p>
井田委員長	<p>ありがとうございました。他に2回参加された戸田委員、いかがでしょうか。</p>
戸田委員	<p>新居浜にはない二階席を設け、親子席なども設けてほしいと思った。元々は1,000席以上あればいいと思っていたが、一流の音楽、本物の芸能を次世代の子どもたちにつなげるために、1,300席以上必要ではないかと思った。今までの利用状況をみると、一流のプロを呼べず、新しくできた他市に流れていった。そういったものを新居浜に呼び戻したい。新居浜を文化・芸能の大きな街にして、子どもたちにつないでいきたいと感じた。また、そうした設備を設けて一流アーティスト・プロを呼ぶ、営業努力をする部署が欲しい。駐車場に関しては、最低300台以上は必要ではないかと思った。近接する市の設備や使える施設があれば、500台ぐらい使えるようになればよい。あと、親子鑑賞席を設けてもらえるとよい。</p>
井田委員長	<p>ありがとうございました。お二人の意見の共通する点として、座席数は1,300席以上必要ではないか、一流のアーティストを呼べるようなホールが望ましいということ。また、駐車場は300台以上、できれば多い方がよいという意見をいただいた。他にご意見等いかがでしょうか。視察に参加されなかった方でもよくこのホールを知っている方でご希望があればお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。北岡委員、いかがでしょうか。</p>
北岡委員	<p>駐車場の件を申し上げますと、広ければ広いほど、十分な広さを確保しておかないといけない。今後はもっと車社会が広がっていくので、車が置けることと会場は切っても切れない大事なことになる。300台では少なく感じる。少々場所が離れても構わないので、作ってもらえるとよい。</p>
井田委員長	<p>ありがとうございました。時間の都合もあるため、他になければ次の議題に進みたいと思いますが、よろしいでしょうか。皆さんから意見を出していただきましたが、今の時点</p>

事務局	<p>で事務局から答えられることがあればお願いします。</p> <p>視察へのご参加、また本日も貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。事務局としては、視察の結果はもちろん、各種アンケート、第1回会議での皆さんのご意見等を参考にさせていただき、次回、新施設の施設構成や必要な機能の提案をさせていただこうと考えています。すべて取り入れることができればよいのですが、委員の皆さんの中でも意見が分かれていることもありますし、どうしても敷地の条件や財政状況、また、あかがねミュージアム、ワクリエ新居浜、ここ文化振興会館など、その他の施設との役割分担等を考慮して、選択しなければいけない場合もありますので、その点は、あらかじめご了承くださいただければと思っています。</p> <p>(2) エリアコンセプト・文化センターの整備方針に関する説明及び意見交換</p>
井田委員長	<p>議題(2)「エリアコンセプト・文化センターの整備方針」について、事務局から説明をお願いします。</p>
支援事業者	<p>(資料4に基づいて、エリアコンセプト・文化センターの整備方針(案)について説明)</p>
井田委員長	<p>ありがとうございました。今回、事前に資料を送ってもらっていますが、少しわかりにくい点もあったと思います。</p> <p>大きく、エリアコンセプトと文化センターの整備方針の二つに分かれています。</p> <p>エリアコンセプトから提案されている理由は、どんな文化センターにするのかを考える上で、まずは文化センターを含む周辺エリアがどんなエリアなのか、どんなエリアになってほしいのかを考えることが始めよう、ということだと思います。</p> <p>周辺エリアの中には、公共施設、学校や保育施設、一宮神社、多くの職場があり、都市機能がそろっていて、子育て世代や高校生を含む若者、働く人、居住者が多くいらっしゃいます。それぞれにとって魅力的なエリアとはどんなエリアかを考えた結果、3ページの右側のコンセプト(案)、「新居浜キャンパス」が提案されています。</p> <p>そして、そのコンセプトを実現するために、エリアの中核的施設となる新文化センターをどのような施設とすべきかを検討した結果、4ページの赤いページ、文化センターの整備方針(案)が提案されています。このページは、委員の皆さんにとって身近ではないかと思います。15の方向性と、それらをまとめた4つの整備方針(案)が提案されていますが、加除修正すべき点はないか、皆さんからご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>どの部分からでも構いません。何かご質問、ご意見はございますか。</p>
北岡委員	<p>いろいろと考えを聞かせていただき、非常によく分かるが、建物は何階建てのものを建てようとしているのか。5階建てなのか、10階建てなのか、それよりも高いのか。そういうものが見えないと、わからないことが多い。ホールを作るとしても、2階なのか5階なのか、10階の建物の上でいろいろなものを作っていくのか、今は何もわからないので想像することが難しい。大体何階建ての建物など、ある程度の条件を教えてもらわないとどこまで共有できるのか難しいと思う。</p>

支援事業者	<p>規模については、これから基本計画に向けて具体化していく。次回の委員会時に具体的な規模までは示せないが、イメージについて少し話ができると思っている。10階建てや5階建てになることは考えられず、2～3階程度が予想される。</p>
北岡委員	<p>大体2～3階ぐらいをイメージしておけばよいのか。</p>
支援事業者	<p>今のホールから非常に高くなるということはないというイメージを持ってもらえればと思う。</p>
好井委員	<p>エリアコンセプトやホールの整備方針について、細かく説明をしてもらった。これからの若い世代の人たちに、催し物がない時期でも文化センターに立ち寄ってもらったり、中央公園もあるので、一括りで整備したりすれば、今までにない楽しい施設になると思う。私は舞台の裏方として仕事をしている。現在の文化センターの舞台機構や音響設備などについて意見を述べさせてもらおうと、1,300席ぐらいあればプロの演奏会やコンサート、劇団四季などメジャーな催し物を呼ぶことはできるだろうが、今の文化センターだと、舞台設備上、呼びたくてもできないということがあるので、時代に適した施設にしてほしいというのが希望である。</p> <p>資料にも書かれているが、これから新しくできるホールは、365日楽しめる、ホールが稼働していなくても、にぎわいを作れるような施設になるとよい。過去にいろいろな所に行ったが、中でも非常にいいなと思ったのが、広島県三原市にある芸術文化センター「ポポロ」という施設である。芝生公園もあり、駅からの距離も三原駅から歩いて10分ぐらい、おそらく新居浜と同じぐらいの立地、ホールと周りの環境が非常に調和しており、今時であればキッチンカーもたくさん入れる感じで、松山で言えば、市民会館や県美術館がある城山公園。似たような雰囲気である。視察に行くのであれば、そういう所も視察先に入れてほしかった。規模も1,000人ぐらいのホールである。</p>
田坂委員	<p>エリアコンセプト(案)を見たときに、学校、生活、働く場の中で気軽に集える場ということで、非常にいいと感じた。私もPTAから来ているので、子どもたちがふらっと立ち寄れて、憩いの場になればいいと思った。中央公園や生涯学習センター、児童センターなどの複合化はまだ決まっていないのか。そこを決めてもらった方が、先ほども言われていたとおりわかりやすい。しこちゅ～ホールを見たときに、芝生広場があつてすごいいいなと思ったが、その辺がふわっとしているのであれば、意見を述べてもどうなのかとなるので、こういう内容になるのでどうでしょうかと言われた方が意見を出しやすい。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。現在は基本構想の策定段階ということもあって、整備方針なども具体的なものではなく、こういうふうにあるべきという方向性を定めるものとなっている。その次に基本計画として具体的な内容になっていく。子育て世代などをターゲットにコンセプトを設定しているが、このコンセプトとした場合にどうしていくべきかを含めて今後検討していく。</p>

井田委員長	皆さんにいろいろな意見を出していただいた上で、徐々に絞って具体化していくということだと思います。今の段階では難しい部分があるかと思うが、この場で希望なり何なりといろいろと出してもらえればよいと思います。
田坂委員	学校に行きにくい子どもが増えている。例えば、そういう子どもたちの支援施設があればいいと思っています。
井田委員長	ありがとうございました。ここで出た意見は事務局として、今後の検討の参考にさせてもらうことになる。
原(恭)委員	<p>説明してもらった進め方、地域全体をどうするか、その中で文化センターの位置付けをどうするかという考え方に対して、全く異論はない。5の整備方針についても、その通りだと思う。ただ、個人的な考えとして、一つ大事なものが抜けているのではないか。それは「環境」である。地域もそうであるし、文化センターの環境、環境という言葉は最後に出ているが、もっと前面に出す。この地域、この文化センターは、日本の最先端の文化施設であるというぐらいの意気込み、位置付けで進めたらよいのではないか。</p> <p>施設を使うのは10年後以降であるが、30年後のアーティストは環境にいい施設で活動したい、逆に言えば、環境に配慮していない施設には行きたくない。今は音響や照明の性能を中心に選んでいるが、今も環境意識は高まっているが、30年後、40年後にはもっと高まっていると思う。環境に配慮していない施設は使わないぐらいになると私は思っている。皆さんがどう思われるかわからないが、よければ意見を伺いたいが、環境をコンセプトの大きな柱の一つにしてはどうか。</p>
妻鳥委員	この場所の近くに新居浜郵便局があるが、交通渋滞がひどく、車の流れが悪い。どうしるかという、前面道路から郵便局に右折して車を止める人が多い。郵便局をエリアに含めれば、駐車場、文化センターの大ホールを止めずに済むのではないか。公園の場所に大ホールを建てた上で、その後に壊していく。建物を全部壊してしまうと文化が止まってしまう。そうなる我々としては非常に困る。郵便局と愛媛新聞までエリアに含めて、構想を考えてもらえればと思う。予算は赤字でも、将来のために、次世代のために、こんないいものを残してくれたと言われるようなものにしてもらいたい。
事務局	ご意見は承ったが、敷地は赤い線で囲っているエリアを想定している。
好井委員	児童センターは入っているのか。今の段階では入っていないのか。
事務局	複合化については、中央公園、生涯学習センター、児童センター等との複合化を想定しているので、これら施設との連携がうまくいけば、児童センターも含めた施設を考えていきたい。
濱田委員	エリアコンセプトと文化センター整備方針の説明を聞き、それぞれ納得し得る内容だった。ただ、方向性14の「…他の施設との適切な役割分担・連携を図る」という点について

	<p>て、一般的な市民の意見として、ここに書かれている施設で十分すぎるほどの機能だと思っている。適切な役割分担・連携の具体的な内容を教えてもらえると大変ありがたい。</p> <p>私も仕事で文化に携わっており、文化センターに人が集まることはいいことだと思うが、子育て世代や若い世代が行きやすい施設は他にも多々あり、市民が行く場所が分散することは間違いないと思った。具体的な役割や連携について、納得できるものがあれば非常にありがたい。</p>
井田委員長	ただ今の質問に対して、事務局から説明をお願いしますか。
事務局	あかがねミュージアムには美術館や小ホールがある。ワクリエ新居浜や文化振興会館、ウイメンズプラザにも諸室がある。それらのものと役割分担をしながら、文化センターにしかない機能というイメージで役割分担・連携、他の施設で使えるものは使ってもらようなイメージを考えている。
濱田委員	ホールや会議室の役割分担は何となくわかるのだが、芝生広場や子育て世代が気軽に集えるスペースを置くという点について、あかがねやワクリエにもあると思う。文化センターがあり隣に公園がある、だからそこに行くというのは今までと同じである。平日、気軽に文化センターに行って文化に触れるという機会、市民はどうしてもワクリエやあかがねに分散するので、文化センターならではの、平日に文化センターに行くと、他の施設とは全く違うサービスがあるというのがあればいいと思った。私が10代、20代のときには、学生のときに行った式典や芸術鑑賞会以外で文化センターに行くことはまず無かったので、特に若い世代が平日行けるような環境を整えてくれると非常にありがたいと思った。
事務局	ありがとうございます。各施設の役割分担を考えながら、計画の検討にも反映していきたい。
井田委員長	ご意見ありがとうございます。他に意見がある人はいらっしゃいますでしょうか。せっかくの機会なので発言してもらえれば。
梶本委員	<p>2点教えてほしい。私は建設のことに詳しくないのでイメージが湧かない。駐車場をたくさん欲しいという意見がある一方で、芝生広場もあった方がよいという意見もある。芝生広場を確保した上で駐車場をたくさん確保することは、建築的な面で可能なのかが気になった。</p> <p>もう1点、文化センターの利用状況を資料にまとめてくれているが、はっきり言って、文化センターは赤字なのか黒字なのか。お金がないと運営も難しいと思うので、その点を教えてほしい。</p>
事務局	2点目について、今の文化センターは収入よりも費用の方が多くかかっている。
支援事業者	1点目の芝生広場と駐車場のバランスの件、今後の課題になる部分である。再整備にあ

	<p>たつて、中央公園と同じ面積の広場や公園を確保することになるが、今はホールとの間に道路があるため、関係性が切れてしまっている状況にある。このような点は改善できると思う。</p> <p>駐車場の台数について、歩車分離、安全性の話がアンケートでも出ていたが、動線の整理やどこまで施設を複合するか、何階建てにするかなどを総合的に検討し、駐車場とオープンスペースをどう確保していくかは今後、考えていく必要がある。</p>
原(孝)委員	<p>駐車場の件だが、立体駐車場を考えてはどうか。</p>
支援事業者	<p>駐車場台数を確保するために、当然、立体駐車場を検討すべきである。ただ、文化センター周辺エリアは、都市計画上の「一団地の官庁施設」に指定されており、敷地に対してどれだけ建築物を整備できるか、その面積に制限が掛かっている。オープンスペースを通常の敷地よりも大きく確保しなければいけないため、立体駐車場を作れるかどうか微妙なところではある。</p>
井田委員長	<p>久保委員、文化センターもよく利用されていると思うが、いかがか。</p>
久保委員	<p>いろいろなホールで駐車場が問題になっていると思うが、皆が納得する駐車場は無理だと思っている。ある演奏会に行ったときには、シャトルバスが出ていた。新居浜の場合であれば、河川敷に駐車スペースを設けて定期的に交通手段を確保するなどの対策も取れる。いくら駐車場を確保したとしても、みんな駐車場が狭いと言う。どのホールにしても同じ。</p> <p>近くでは、観音寺のハイスタッフホールが大好きである。特に小ホールには驚いた。天井は高いし、舞台と観客の距離も近い。演奏会に行くと、このホールはすごい、素敵だと思った。ぜひ新居浜では、みんながこのホールはいいねと言ってもらえるようなものを建ててほしい。</p>
井田委員長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。全体を通して他に意見はありませんか。無いようでしたら、今日はお忙しい中、アドバイザーの先生に来ていただいているので、アドバイザーのご意見も伺いたい。宮崎先生お願いします。</p>
宮崎 アドバイザー	<p>中四国で最も音がいいのは倉敷市民会館、クラシックに特化した場合だが。当然、分野によってホールの評価は異なるが、はっきり言えるのは、お金を掛けているホールはいい所が多い。残念ながらそうになってしまう。香川県民ホールの小ホールはバブル最盛期に建てられた施設で、お金をふんだんに使っており、音が抜群によい。非常にいいホールができています。観音寺のハイスタッフホールも人気があるようだが、大阪にも同じようなホールがある。お金がかかっていない割にはいいホールである。西条市総合文化会館やしこちゅ〜ホールなどは、今日のような会議で多くの人の様々な意見を取り入れており、結果的にあのようなホールができてしまう。少し物足りない。今日出されたような意見をすべて取り入れれば、ホールとして申し分ないが、多くの意見や要望を取り入れれば取り入れるほど、みんなにとって満足なホールではなくなっていく。どのあたりに力点を置くか。</p>

宝塚を呼ぶにはどうしたらよいか、お客さん目線での意見が多かったが、座席数が1,300席あれば十分呼べる。きちんと調べたわけではないが、高松のサンポートホールで宝塚を呼べないのは、宝塚側からステージが1尺ほど足りないと言われたからだそうだ。客席側のことをよく考えるが、ぜひ舞台側のことも考えてほしい。

次に、ホールの活性化についてだが、他の施設でいろいろとやっていることを参考に聞いてもらえたらと思う。高松市では、ゼロ歳からのコンサートをやっている。募集を始めると10分でいっぱいになるぐらい人気がある。あとはストリートダンス。やや廃れては来ているが、関西圏などからたくさんの人が見に来る。街の活性化に寄与する。それから月例コンサート。毎月文センではコンサートか何かがある、金曜コンサートでも何でもよいが、そういうもので人を惹き付けていく。

音楽とは関係ないが、岡山の方では「えんぴつの家」というのがあり、学校の帰りに必ず子どもたちがそこに寄る。職員が1~2名がいて宿題を見してくれる。図書館機能もある。さらにそこにちょっとした音楽なり習字なりがあり、そういうことがあることで、文化センターに立ち寄るといことが広がるのではないか。

今日最も多かった駐車場の件、これは聞き流してほしいが、ロマンチックなことは言わない方がいい。どかんとホールを建てて、小ホールと皆さんが希望する部屋を作る。大ホールは小学生、中学生、高校生でもみんなが使い、トラックも出入りできて使い勝手がいい。こういったホールが、市が経営するホールには1つはないといけない。汚したらダメ、こういうことしたらダメということではなくて、誰でも使いやすいホール。

それから800人ぐらいの中ホール、これは格式を持ったもの。新居浜ならでは、住友の伝統。昔、世界のトップの演奏家が日本に来る際には、まずは新居浜に来ていた。新居浜の住友ホールで演奏してから東京で演奏していた。そういったものを大事にして、新居浜を生かした中ホールを作る。この話は戯言だと思って忘れてほしい。

ロマンチックなことは捨てれば、駐車場の問題もかなり解決する。先ほどの意見にもあったが、いくら広くしても足りることはない。そうしてはどうか。

ちなみに高松では、サンポートホールがあり、徳島文理大学が進出し、さらに10,000人収容のアリーナができるが、そこには駐車場がないそうである。駐車場は永遠の謎。このエリアは新居浜の中の銀座である。ロマンチックなことは言えないので、機能的なホールを作ることが大事なのではないか。

井田委員長

宮崎先生ありがとうございます。それでは最後になりましたが、木村先生お願いします。

木村
アドバイザー

貴重な意見を聞かせていただき、ありがとうございます。ホールに関しては宮崎先生が詳しくお話くださり、今日の議題は文化センターの整備方針ということなので、外側の話をプラスアルファでさせていただいたらと思います。子育て世代、PTAの親御さんとしては子どものいる場所、これはまさにサードプレイスという考え方に含まれる。実はこの文化センターの計画にあたって考えないといけないのは、皆さんの意見にもあったように、未来永劫、次の世代につなげていく側面を私たち、今作る人間が考えないといけない。子どもだった人もいつかは高齢者になる。サードプレイスは子育て世代、子どもだけでなく、高齢者にとってもサードプレイスにもなり得るべき空間が必要ではないか。例え

	<p>ば、独居老人の方が、今日は天気もいいし、近いからあそこに行ってみようか。人が集うときの要となるものは文化であるという視点も重要であるし、また、先ほどの宮崎先生の話にもあったが、教育者が教えるのではなく、老人から若い人に何かを伝えることができる空間でもある必要があると思う。コンセプトの設定にあたり、4つの世代、視点から話をしてもらったが、4つを結びつける縦の線をプラスアルファすると、次世代にうまくつながるのではないか。</p> <p>これは私の夢なのだが、大学在籍中から取り組んでいる。非常に難しいのだが、ボランティアの育成である。文化を支えるのは単に観客だけでなく、人口減少していく中では、喜んでボランティアをしてくれる方が文化を育むうえで大きな力になる。ただし、なかなかすぐに育成できることではない。新居浜には活動熱心な人が多いので、うまくこの機会を使って、さまざまなボランティア活動、先ほどの子育てのこともそうであるし、サードプレイスもそうであるが、輪が広がっていくような案ができるとうい。</p> <p>最後になりましたが、多角的な視座で非常によく案が練られており、皆さんの情熱ではないかと思った。心から感心しました。</p>
井田委員長	<p>ありがとうございました。エリアコンセプト、文化センターの整備方針については、これらのご意見を踏まえて、検討を進めてもらえたらと思います。</p>
	<p>(3) その他</p>
井田委員長	<p>続いて、(3)その他に移ります。事務局から何かあればお願いします。</p>
事務局	<p>本日は、長時間ありがとうございました。次回以降の会議についてお知らせします。本日開会時に申し上げたとおり、今回は、新施設の機能その他について協議していただきます。委員長と日程を調整させていただいた結果、次回の第3回会議を、12月23日(金)の午後2時から、文化センター別館3階の視聴覚室で開催したいと思っています。改めてご案内を差し上げますので、ご出席をお願いします。</p> <p>また、先にはなりますが、第4回会議は1月24日(火)を予定しています。</p> <p>第3回は12月23日(金)、第4回は1月24日(火)に予定していますので、どうかよろしくお願ひします。</p>
井田委員長	<p>ありがとうございました。次回には、いよいよ基本構想の全体像も見えてくると思いますので、皆様のご参加をよろしくお願ひします。その他、委員の皆さんから、何かございますか。</p>
好井委員	<p>次回の日程が12月23日とのことだが、仕事の都合で出席できない。今回は、必要な機能、管理運営など具体的な文化センターのハード・ソフト面が審議内容になると思う。</p> <p>事前に資料をいただき、メールで回答するなど、それに対する私なりの意見・考えをお伝えした方がよいのか。</p>
事務局	<p>資料を事前にお送りするので、それでお願ひしたい。</p>

好井委員	具体的な資料をもらえるということは、逆に言うと、北岡委員からもあったように、建物は大体これぐらいのサイズになる、ホールのキャパはこれぐらいになるという資料がそれまでにできるのか。
事務局	具体的なことは次の基本計画のステップになる。今回は基本構想であり、次回はどのような機能を入れていくのかが議題になる。具体的なものではない。
好井委員	まだアバウトな感じか。
事務局	席数がどの程度など、大まかな感じになる。
好井委員	次回に数は出てくるのか。
事務局	何階建てのどのような建物ということではなく、例えばということで案としてお示しする予定である。
原(恭)委員	どうしても気になっていることが一つある。現実的なことになって恐縮だが、お金のことである。西条市総合文化会館が60数億円、あの水準の施設を今時点で整備すると90億～100億円ぐらいになるのではないか。しこちゅ～ホールはかなり予算を削って整備したが、財源として合併特例債を使っている。非常に財政負担が軽くなる制度なのだろうが、新居浜市には特例債があまりないとも聞いている。お金をいくらでもかけていいのであれば、素晴らしいものができるだろうが、お金をかけ過ぎると市の財政負担が大きくなるなど、いろいろな問題が生じる。予算規模がどれぐらいなのか、どの段階でそのレベルの議論になるのかを教えてほしい。夢や理想を求めすぎても、後で予算に限りがあるので縮小してくださいとなると悲しいので、ある程度のイメージを共有しながら進めた方がよいのではないか。
好井委員	前回もお伝えしたことだが、利用料金はある程度想定されているのか。周辺の西条市文化会館、土居のユーホール、しこちゅ～ホール、ハイスタッフホールなど、それら施設と文センの大ホール・中ホールの料金などを目に見える形で見せてほしい。建設費がいくらになるのかわからないが、新居浜市としては10年後に開館したときに、どれぐらいの料金設定を考えているのか。案として見せてもらえるとありがたい。
井田委員長	好井委員に対する説明をいただけますか。
支援事業者	来年度、基本計画を策定し、その後どのような事業手法を採用するか、どのような管理運営レベルにしていくかなどを詳細に詰めていく。徐々に検討を具体化していく予定であり、利用料金もその過程で決めていくことになる。新しい施設を整備する際に利用料金をどうするか、他市の例でもいろいろな方面からいろいろと議論がある。施設の内容を具体化していく中で決めていくことになる。

好井委員	できれば、今の文化センターと視察したホールの料金なども提示してもらえると、比較しやすくなる。
支援事業者	承知した。
原(恭)委員	予算規模が出てくるのはいつ頃になるか。もうあるのか。
支援事業者	来年度検討する基本計画の中で、概算事業費を検討する。ただ、計画策定時点から建設までの期間が長いので、計画で示すのは、あくまでその時点の金額であり、そこから変わっていく可能性が高い。昨今、工事費の値上がりが続いており、他の事業でも非常に難しい状況になっている。来年度すぐに決められるものではないため、今つくるとしたらどのぐらいの費用が掛かるのかを示し、その上で、事業を進める中でどう変わっていくか、タイミングを見ながら検討していくことになると思う。
原(恭)委員	A案、B案などが示された場合、A案はいくら、B案はいくらというようなイメージか。
支援事業者	例えば、来年度の段階で、立体駐車場を整備するパターンと整備しないパターンなどの比較は可能だと思う。
原(恭)委員	来年度ですね。わかりました。
井田委員長	先ほどの意見も十分踏まえていただいて、委員の方が議論しやすい資料を作成してもらえたらと思う。では予定の時間が迫っているので、他に意見がなければこれで会議を終了とします。ありがとうございました。